

全日赤九州地方 女性・青年交流集会開催！！「医療研究全国集会in東京」に参加して



6月21日（土）～22日（日）杉の井ホテルで「2 交替勤務をしたことがないから、悪いが分からない」という長崎の青年の意見があり、学習する事になりました。長崎、唐津、大分、本部より40名が参加しました。3施設とも2交替が試行されています。女性運動史、看護闘争、夜勤・長時間労働の有害性を大分県医労連の美馬委員長の体験を交え講義いただきました。村上優子さんの過労死、がんのリスク、夜勤明けは酒気帯び運転状態で危険、元氣そうに見えるが気分がハイになっているだけ、自分を基準にするのではなく大切な人が長時間労働の看護師に看護されたらどうなのかを考えるべきとご教授いただきました。夜は交流会、翌日は観光をして楽しい2日間でした。

青年部長（長崎）：美馬さんのご講演では2交替制夜勤について知り、より働きやすい環境とは？について考える貴重な機会になったかと思えます。夕食会や懇親会では他県や他部署の組合員と話しする機会となり、交流を深めることができたのではと思っています。



検索！ <http://oita-irouren.net/>

6月14日～15日「第41回医療研究全国集会」が東京で開催され大分から2名が参加しました。

1日目は、都留民子先生より“民主主義の土台としての社会保障制度に向けて”の講



義がありました。分かりやすい講義で、今後の社会情勢に不安を抱くとともに、国民生活のための社会保障制度の創造の必要性を強く感じました。2日目は、分科会“リハビリテーションの現場で求められるもの”に参加しました。患者様に対するアプローチや、人員増を勝ち取った話など各病院の取り組みを知るととても良い機会であり、少人数で意見交換もしやすく有意義な時間となりました。今回の勉強会を活かして、より良い病院作り、また患者様に対して民主的らしい医療を



提供できるよう頑張ろうと思いました。

【大分医療生協労組】

さて、梅雨のさなかに大きな台風が上陸し未曾有の大雨に大きな被害も出ました。被害に遭われた方々には、心より御見舞い申し上げます。先日、大分県母親大会に久しぶりに参加してきました。わたしは「ブラック企業だらけの社会で人間らしく働けるために」という分科会に参加してきましたが、なかなか厳しい現状を今更ながらに実感してきました。希望を胸に社会に出て、がんばり続ける事の難しさは、今現在働いている皆さんであればいたいほど分かっていることと思いますが、学校を出て最初の一泳ぎで大波にさらわれる若者の多さ、大波はいかにして飲み込もうかと待ち構えている。一人では前に進むことが出来ない荒波です。ブラック企業は看板を掲げているわけではありません。どの会社も組織を守る中でブラックにならざるを得ない側面を持っているのです。組織に対して押しつぶされることなく一人で立ち向かう事は困難です。『組合』というのは、そのブラックな側面に飲み込まれることのないように仲間と共に支え合う、会社側と話し合いを重ね働きやすい環境作りをしていく組織なのです。決して私達の要求だけを突きつけ改善を求める事だけが組合活動ではありません。「一人の仲間も泣くことがない労働環境作りのために地道に話し合いを続けていく」これこそが、真の組合活動と言えるのではないのでしょうか。

次回に続く・・・